

E127		キャリア形成特殊講義「若者支援（ユースサービス）の場での働き方を学ぶ」	
英名科目名	Special Lectures in Career Design		
大学名	立命館大学		
連絡先	衣笠教学課 075-465-8310		
担当教員	水野 篤夫		
開講期間	2021年9月27日(月)～2022年1月19日(水) <毎週木曜日> 2時限：10:45～12:15 <教室案内> 「立命館大学の開講科目を受講する皆様へ」から確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html 補講日や祝日授業日など、学年暦は立命館大学HPから確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/profile/info/calendar/		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2年生以上
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	30		
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	【平常点評価】100% 授業毎のコメントシート提出および企画提案への貢献		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：43,400円・聴講生：25,800円		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>新型コロナウイルス感染症への対応情報について 立命館大学では、新型コロナウイルス感染症に対する独自の行動指針（BCP）を設け、BCPレベルに応じて授業実施形態や入構制限等を判断しています。 立命館大学の行動指針（BCP）や入構制限状況、その新型コロナウイルス感染症への対策等の情報は以下HPからご確認ください。</p> <p><新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ> http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1679#page-title1</p> <p>シラパスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラパスを確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</p>		
パッケージ科目			
低回数受講推奨科目			
講義概要・到達目標			

<p><授業のねらい> 「子ども若者の成長と社会」=子どもや若者の成長を巡る社会課題について、学校とは違う、「福祉」とも違う若者の成長を支える営み（ユースワーク）の観点から考えます。この授業では、若者と関わる現場で働く多様なスタッフを招いてお話を聞き、実践現場を訪問しながら、若者の成長支援のあり方を学ぶとともに、そのための基盤となるユースワーク（ユースサービス）や「若者学」について受講の皆さんとともに考えていきます。</p> <p><方法> *多様な現場スタッフをゲストに招きます。 *若者と関わる現場での授業も行います。 *グループディスカッションとグループでの企画提案づくりを行います</p> <p>【到達目標】 学校外の若者の学びや成長支援の多様な課題とあり方を理解する。 若者の成長支援に携わるさまざまな人の働き方や活動、役割について知る。 若者を巡る問題を包括的に考えるユースワークと若者学について知る。</p> <p>【授業外学習の指示】 授業外での予復習は特に求めませんが、グループディスカッションやグループ課題への積極的な参加姿勢を求めます。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 *若者（や子ども）と関わる仕事に関心ある学生にとって、教師だけではない多様な教育・支援の営みを知ってもらう機会となります。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 コミュニケーションペーパー,その他(教員より別途指示)</p> <p>【備考】 *衣笠キャンパスでの授業です。 *何回か、現地授業を実施します。（授業中に案内します）</p>	
<p>講義スケジュール</p> <p>第01回 子ども・若者「支援」って何か？ <キーワード> 若者支援 ユースワーク 大人になるとは 非形式的な教育</p> <p>第02-03回 子どもや若者を巡る社会的課題を考える。 <キーワード> 移行期 移行の長期化・複雑化・個人化</p> <p>第04-08回 若者を巡る課題（各論） <キーワード> 子どもや若者の貧困と居場所 若者のセクシュアル・ヘルス 若者と多文化社会・多文化共生 若者とアイデンティティ 若者とシティズンシップ 子ども・若者ケアラー（ヤングケアラー）を巡る問題</p> <p>第09-11回 ユースワークの実践現場を見る <キーワード> 若者と雇用＝職業的自立支援の活動（若者サポートステーション） オープンアクセスな場でのユースワーク（京都市青少年活動センター）</p> <p>第12-15回 若者の成長支援のための新しいサービスを考える（企画会議&発表） <キーワード> グループによる企画づくり 新しいサービス</p>	
教科書	
参考書	【参考になるwwwページ】 http://ys-kyoto.org/